



牛窓町鹿忍槌ヶ谷出土
裝飾付脚付長頸埴
(東京国立博物館 所蔵)
Image:TNM Image Archives



ここで作られた須恵器は
7世紀後半以降になると近
畿地方まで運ばれ、8世紀前半には
平城京でも使用されました。



花光寺山古墳 内行花文鏡(部分)
(東京国立博物館 所蔵)
Image:TNM Image Archives

牛窓湾周辺には、牛窓天神山古墳、黒島古墳、鹿歩山古墳、波歌山古墳、二塚山古墳の計5つの前方後円墳。吉井川東岸の平野には、花光寺山古墳、築山古墳、船山古墳、油杉山古墳、金鶏塚古墳、亀ヶ原大塚古墳の計6つの前方後円墳。さらに長船平野の南の本坊山古墳など多くの古墳が築かれています。

築山古墳後円部の頂部に残る阿蘇山の凝灰岩を使った家形石棺や花光寺山古墳周辺で出土した朝鮮半島とかかわりを示す軟質土器など、当時の豪族たちの交易の広さを物語るものも数多く出土しています。

中・四国地方最大の須恵器窯跡群、邑久古窯跡群は、瀬戸内市、備前市にまたがり、約150基の窯跡が確認されています。



本坊山古墳 陶棺
(東京国立博物館 所蔵)
Image:TNM Image Archives

吉備文化の開化

吉備東部の奥津城と中・四国地方最大級の須恵器生産地

「築山古墳、花光寺山古墳、邑久古窯跡群ほか」

Setouchi History

Kishima shell mound on Kishima Island – a small island in Ushimado Bay – is an important site, which tells the story of the Holocene glacial retreat in the Seto Inland Sea. A lot of Yayoi earthenware has been excavated in Kadota shell mound, and they serve as criteria for the early and late Yayoi period for the coastal region of the Seto Inland Sea. Pit dwellings of the late Yayoi period were also excavated, proving that the coastal region of the Seto Inland Sea was a major settlement. A lot of soft earthenware has also been discovered, which indicates the links with the Korean Peninsula. The largest clusters of Sue and Okuko ware kilns in the Chugoku and Shikoku regions can be found across Setouchi and Bizen cities with approximately 150 kilns.

瀬戸内の今昔

牛窓海域上浮现の小島、位于黄島の黄島貝冢都是见证绳文海进(绳文时代海面上升)的宝贵遗迹。

门田贝冢出土了大量的弥生土器，这些土器是瀬戸内海沿岸地区弥生时代前期后半叶的标准资料。并且，还发掘出弥生时代后期的竖穴住居遗址，从而得知其曾是瀬戸内海沿岸地区的据点村落。

此外，还出土了大量与朝鲜半岛有渊源的软质土器等。

中国、四国地区最大的须恵器窑遗址群、邑久古窑遗址群横跨瀬戸内市和备前市，已有约150座窑址得到确认。

세토우치의 어제와 오늘

우시마도 근해에 떠 있는 작은 섬 기시마에 있는 기시마 패총은 세토나이카이 의 조몬카이신(조몬시대의 해수면 상승)을 말해주는 귀중한 유적입니다.

가도타 패총은 세토나이카이 연안 지역 야요이시대 전기 후반의 기준 자료가 되고 있는 야요이 토기가 다수 출토되었습니다. 야요이시대 후기의 수혈 주거지도 발굴되어 세토나이카이 연안 지역의 거점 부락이 형성되어 있음을 알 수 있습니다.

또 한반도와의 관계를 보여주는 연질토기 등도 다수 출토되고 있습니다.

주고쿠·시코쿠 지방 최대의 스테토기 도요지군, 오키 고도요지군은 세토우치시와 비젠시에 걸쳐 약 150기의 가마터가 확인되고 있습니다.

Since ancient times, people have listened to the winds that blow across the land. We are also enveloped by the same winds from times past.

从太古代，人们便在倾听这里的和风。今天的我们，也沐浴在与当时同样的和风之中。

태고 때부터 사람들은 이곳의 바람에 귀를 기울였습니다. 우리도 그때와 똑같은 바람에 감싸여 있습니다.

瀬戸内今昔

太古より人びとはこの地の風に耳を傾けていました。わたしたちもあの時と同じ風につつまれているのです。

瀬戸内海の誕生 豊かな農耕生活

縄文海進を語る遺跡

「黄島貝塚」

黄島貝塚は、牛窓沖に浮かぶ周囲約4kmの小さな島、黄島にあります。貝塚は上にハイガイを主とする貝層、下にヤマトシジミを主とする貝層に分かれています。ハイガイは遠浅の砂・沼地の海に住む貝で、ヤマトシジミは淡水と海水が混じるところに住む貝です。これは黄島の周辺に徐々に海が広がっていったことを示しています。



黄島貝塚出土の土器片

水河期が終わわり、地球規模で海が広がったのが縄文時代のこと。このことを縄文海進と呼び、森が広がっていた瀬戸内海にも、この時期に海水が流れ込んできました。現在の瀬戸内海の誕生です。黄島貝塚は、瀬戸内海における縄文海進を語る貴重な遺跡であることから全国的に有名です。

弥生時代の拠点集落

「門田貝塚」

門田貝塚は、吉井川が形成した沖積平野につくられた集落遺跡です。遺跡の中心となる貝塚からは、ハイガイ、シジミなどの貝殻や「門田式」と呼ばれる、瀬戸内海沿岸地域の弥生時代前期後半の基準資料となっている弥生土器がたくさん出土しました。そのことからこの地に集落がつけられたことが分かります。

また、弥生時代後期の竖穴住居跡も発掘され、「門田ムラ」は集落の規模を弥生時代後期にかけて拡大させ、瀬戸内海沿岸地域の拠点集落となっていたことが分かります。奈良時代の建物跡、鎌倉時代の井戸の跡など、その後の時代の遺構も数多く見つけられ、長期にわたって多くの人が暮らしていたことが分かります。



門田貝塚出土の土器



門田貝塚史跡公園
貝塚調査時に採取した貝殻を使った貝塚や竖穴住居2棟が復元されています。



- A 花光寺山古墳
- B 築山古墳
- C 門田貝塚
- D 黄島貝塚